

津久見市総合計画・総合戦略策定のための市民アンケート調査 調査結果速報

1. 調査概要

項 目	内 容
調 査 目 的	・ 現計画及び現戦略で実施してきた各種施策に関する重要度、満足度の把握・分析 ・ 雇用・働く環境、結婚・出産・子育て、将来のまちづくりに関する意向及び津久見市への施策要望の把握【次期計画・戦略、人口推計に活用】 ・ 出生希望の把握【目標人口設定に活用】
調 査 期 間	令和 7 年 3 月 19 日～4 月 7 日
調 査 方 法	郵送配布・郵送又は Web にて回収
調 査 対 象	市民 1,500 人を年代別に無作為抽出（2024 年 10 月時点 18 歳以上人口 12,884 人）
有 効 回 収 数	461 件（郵送回収 320 件・Web 回収 141 件）（回収率 30.7%） → 信頼レベル 95%・許容誤差±5.16%

2. 調査設問

Part I 属性		
Q1	性別	
		男性/女性/その他/回答しない
Q2	年齢	
		18～29 歳/30～39 歳/40～49 歳/50～59 歳/60～69 歳/70～79 歳/80 歳以上
Q3	職業	
		会社員、団体職員/公務員、教員/自営業および家族従業/農林水産業/専門職・自由業/学生/アルバイト 家事専業/無職/その他
Q4	居住地	
		千怒地区/津久見地区/青江地区/下浦地区/日代地区/四浦地区/保戸島地区・無垢島地区
Q5	居住年数	
		1 年未満/1 年以上 5 年未満/5 年以上 10 年未満/10 年以上 20 年未満/20 年以上 30 年未満/30 年以上
Q6	通勤・通学先	
		津久見市内/佐伯市/臼杵市/大分市/その他県内/県外/就学・勤務していない
Q7	出身地	
		津久見市/他市町村
Q8	家族構成	
		単身/夫婦のみ/親子 2 世代世帯/親子 3 世代世帯/兄弟姉妹/その他
Part II 取り組んでいる施策について		
Q9～ Q14		「基本目標 1.健やかな暮らしを支え合う思いやりのまち」の満足度、重要度
		「基本目標 2.郷土を想う心の豊かなひとを育てるまち」の満足度、重要度
		「基本目標 3.世界に誇る地域資源で活力を創造するまち」の満足度、重要度
		「基本目標 4.多様な都市活動を支える快適で潤いのあるまち」の満足度、重要度
		「基本目標 5.美しい津久見の環境を次世代へつなぐまち」の満足度、重要度
		「基本目標 6.未来の津久見を共に考え行動するまち」の満足度、重要度

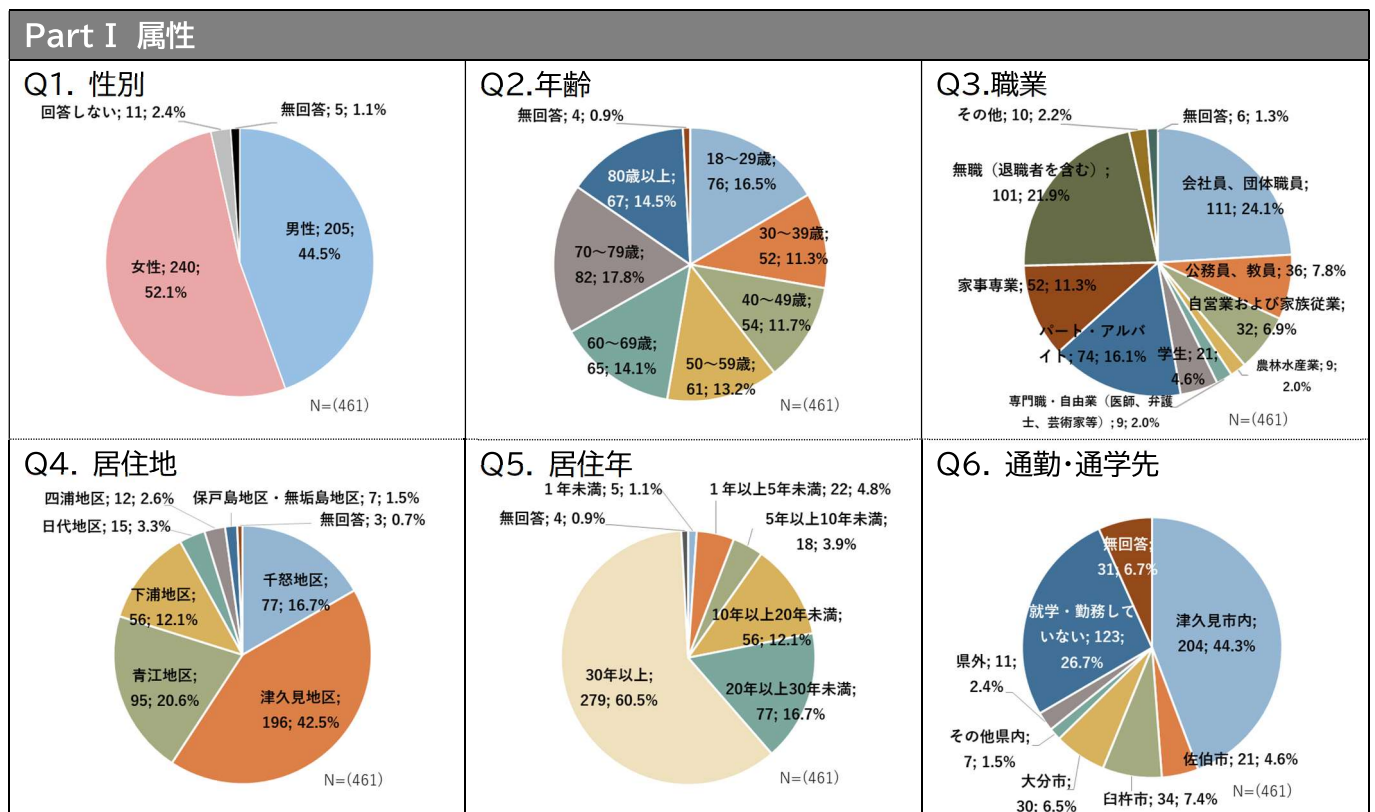
Q15	施策についての意見や必要と思う取組(自由記述)	
Part III 雇用の確保や働きやすい環境づくり		
Q16	津久見市内の働く場所は充実していると思うか	
	とてもそう思う/そう思う/そう思わない/全くそう思わない/わからない	
※Q16で「とてもそう思う」、「そう思う」の方		
Q17	充実していると思う理由(3 つまで)	
	希望する仕事内容を満たす職場が多いから/賃金水準が高いから/立地条件の良い職場が多いから	
	福利厚生が充実した職場が多いから/地元産業に関連する企業が多いから	
	テレワーク・リモートワーク等、多様な働き方を推奨する職場が多いから	
	女性の雇用機会が充実した職場が多いから/若年層の雇用機会が充実した職場が多いから	
	子育てとの両立ができる職場が多いから/介護との両立ができる職場が多いから	
	高齢者の雇用機会が充実した職場が多いから/障がい者の雇用機会が充実した職場が多いから/その他	
※Q16で「そう思わない」、「全くそう思わない」の方		
Q18	充実していないと思う理由(3 つまで)	
	希望する仕事内容を満たす職場が少ないから/賃金水準が低いから/立地条件の良い職場が少ないから	
	福利厚生が充実した職場が少ないから/地元産業に関連する企業が少ないから	
	テレワーク・リモートワーク等、多様な働き方を推奨する職場が少ないから	
	女性の雇用機会が充実した職場が少ないから/若年層の雇用機会が充実した職場が少ないから	
	子育てとの両立ができる職場が少ないから/介護との両立ができる職場が少ないから	
	高齢者の雇用機会が充実した職場が少ないから/障がい者の雇用機会が充実した職場が少ないから	
Q19	行政が力を入れるべき取組(3 つまで)	
	企業誘致による雇用拡大 /税制処置等の企業支援/産官学の連携によるビジネス機会の拡大	
	市内事業所の人材育成支援/企業情報の発信・PR/就職に関する相談窓口の充実/インターンシップ等の充実	
	職業能力を高められる機会の拡充/資格取得に向けた支援(講座、費用助成等)/外国人労働者の支援	
	ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)の啓発/テレワーク環境の整備支援/障がい者の雇用支援	
	サテライトオフィス等の整備・運営・利用促進/子育て支援の充実/介護支援の充実/シニア層の再就職支援	
	起業・創業支援/労働環境の改善支援	
Part IV 結婚・子ども・子育て支援		
Q20	結婚状況	
	結婚していない(未婚)/結婚していない(離別・死別)/結婚している(事実婚や別居中の夫婦を含む)	
※Q20で「結婚していない(未婚)」の方		
Q21	結婚に対する考え方	
	すぐにでも結婚したい/2～3年以内に結婚したい/いずれは結婚したい	
	結婚したいと思うが、結婚しないと思う/今後、結婚するつもりはない	
Q22	結婚していない理由(いくつでも)	
	結婚するにはまだ若すぎるから/結婚する必要性を感じないから/今は仕事(または学業)に打ち込みたいから	
	今は、趣味や娯楽を楽しみたいから/独身の自由さや気楽さを失いたくないから/人間関係が複雑になるから	
	自分に合った相手に出会っていないから/出会う機会(場)がないから/うまく付き合えないから	
	結婚資金(挙式や新生活の準備費用)が足りないから/結婚生活のための住居のめどが立たないから	

	結婚後の生活を送るための十分な収入が得られていないから/同性婚ができないから
	子育ての経済的負担（または精神的負担、肉体的負担）が大きい（だろう）から/健康面での不安があるから
	家族の介護等の家庭の事情により余裕がないから/親や周囲が結婚に同意しない（だろう）から
Q23	行政に求める結婚支援(3 つまで)
	出会いの場の提供（街コン・婚活イベント等）/交際にあたってのノウハウを学ぶセミナーの開催
	若者の結婚を推奨するような啓発活動/結婚に関する相談支援/安定した雇用機会の提供
	パートナーとともに働き続けられるような職場環境の充実（長時間労働の短縮等）/子育て支援事業の充実
	結婚による税制や社会保障の優遇/結婚や住宅に対する資金貸与や補助支援/同性婚が認められる法制度
	選択的夫婦別氏制度の導入/結婚は個人の問題であるため、支援は必要ない/その他
Q24	現実の子どもの人数
	0 人/ 1 人/ 2 人/ 3 人/ 4 人/ 5 人以上
Q25	理想の子どもの人数
	0 人/ 1 人/ 2 人/ 3 人/ 4 人/ 5 人以上
※現実の子どもの数が理想より少ない方	
Q26	子どもの数が理想より少ない理由(いくつでも)
	結婚していないから/子育てや教育にお金がかかるから/家が狭いから/自分の仕事に差し支えるから
	子どもがのびのび育つ環境でないから/自分やパートナーの生活を大切にしたいから
	将来の雇用（収入）に不安があるため/健康上の理由により妊娠・出産が困難だから
	パートナーが望まないから/自分またはパートナーが高齢だから/子どもはほしいができないから
	これ以上、育児の心理的、肉体的負担に耐えられないから
	パートナーの家事・育児への協力が得られないから/子どもが好きではない、または苦手だから
	末子が自分またはパートナーの定年退職までに成人してほしいから/その他
Q27	子育ての利便性
	とてもそう思う/そう思う/そう思わない/全くそう思わない/わからない
Q28	前問の理由(自由記述)
Q29	行政が力を入れるべき子育て支援の取組(3 つまで)
	乳幼児の健康・育児相談の充実/未就学児を対象とした子育てサークルや活動拠点施設の整備
	放課後児童対策（放課後児童クラブ等）の充実/小・中学校の学力向上の取組の強化/ひとり親家庭への支援
	子どもが活動しやすい屋内レクリエーション施設の整備/子どもを連れて、安全に歩ける歩道の整備
	男性を含めた働き方の見直しと働く環境の整備/交通安全や防犯等、地域ぐるみの子どもの見守り活動
	児童虐待防止対策の充実/医療機関の充実（小児科等）/子育て世帯向けの公営住宅や賃貸住宅の整備
Part V これからのまちづくり	
Q30	総合計画・人口ビジョン・総合戦略の認知度
	内容まで詳しく知っている/一部の内容を知っている/名前だけ知っている/全く知らない
Q31	行政の関心度
	大いに関心を持っている/まあまあ関心を持っている/どちらとも言えない あまり関心がない/全く関心がない
※Q31 で「あまり関心がない」、「全く関心がない」の方	
Q32	行政に関心がない理由(自由記述)

Q33	市政情報の入手方法(3 つまで)
	市報つくみ(広報誌)/市のホームページ/新聞/津久見市公式 LINE/津久見市公式 X(旧 Twitter)
	津久見市公式 Facebook/津久見市公式 Instagram/インターネット上の掲載記事/FM ラジオ/その他
Q34	目指すべき活力あるまちの姿
	農林水産業や商工業等、産業の振興が図られているまち/住環境や働く場が充実し、若者が住みたくなるまち
	観光地としての魅力が高まり、多くの来訪者を惹きつけるまち
	消防・防災対策が充実した安心して暮らせるまち/人権が尊重され、誰もが自分らしく生きられるまち
	「関係人口」と呼ばれる新しい人々が多く訪れ、市民との交流が図られているまち
	高齢者や女性、障がい者、外国人の方等、誰もが生涯にわたり活躍できるまち
	人工知能(AI)等の最先端技術の導入により、市民の生活の利便性と満足度が向上しているまち
	結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえられるまち/それぞれの地域コミュニティが元気で、活力あるまち
	医療・福祉サービスや公共交通の充実等、安心して暮らせるまち
	SDGs の理念を踏まえた取組により、持続可能なまちづくりが実現しているまち
	自治体間連携や民間との協働により、地域の課題が解決されるまち
	津久見市の特徴的な文化が保全され、スポーツが盛んなまち/その他
Q35	津久見市で行うべき地方創生施策・人口減少対策
	農漁業の振興/観光・交流の推進/他地域からの移住定住/子育て・教育環境整備/起業・創業の支援/DX の推進
	女性の活躍推進/産業基盤の強化/災害や事故からの安全/健康寿命の延伸/文化やスポーツの振興/その他
Q36	まちづくりの意見・アイデア(自由記述)

3. 調査結果

調査結果において、割合(構成比)を示しているものについては、小数点以下第1位を四捨五入しているため、合計値が100.0とならない場合がある。



Part II 取り組んでいる施策について

Q9～14. 現総合計画における施策の満足度・重要度

現行計画の 31 の基本方針に関して、「現在の満足度」と「今後の重要度」を確認し、横軸を「現在の満足度」の偏差値、縦軸を「今後の重要度」の偏差値として散布図にプロットした。散布図は各A～Dの4つのエリアに分けることができ、各施策がどのエリアに分布するかで、施策の評価を行うことができる。

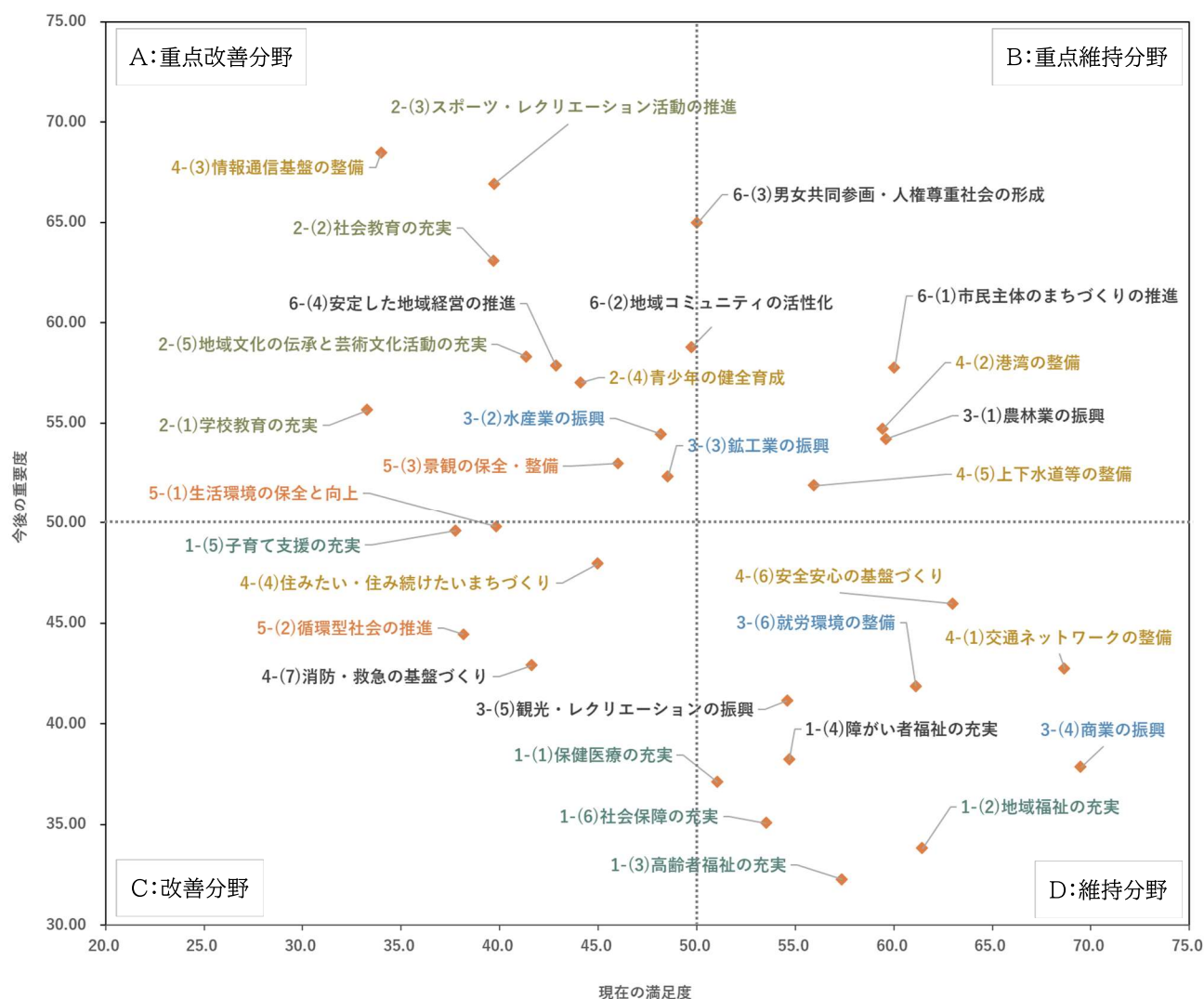
A:重点改善分野(低満足・高重要)：優先的に改善・見直しが必要とされる分野

B:重点維持分野(高満足・高重要)：評価を維持・向上させるよう取り組むべき分野

C:改善分野(低満足・低重要)：目的や需要の再確認・見直しが必要とされる分野

D:維持分野(高満足・低重要)：評価を維持しつつ、目的や需要の再確認・見直しが必要とされる分野

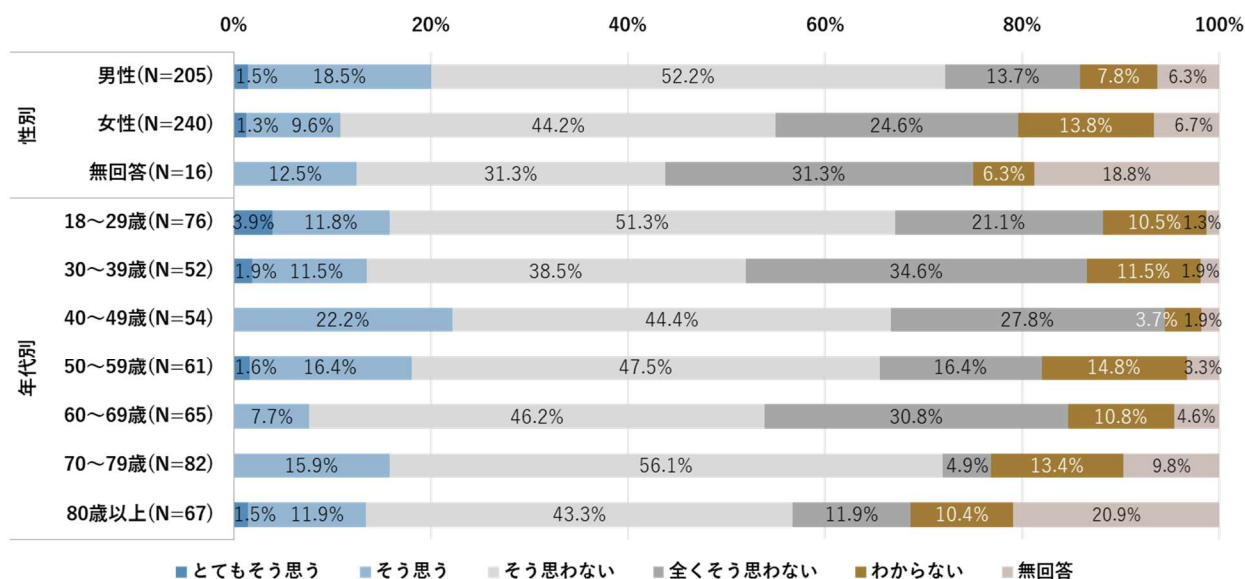
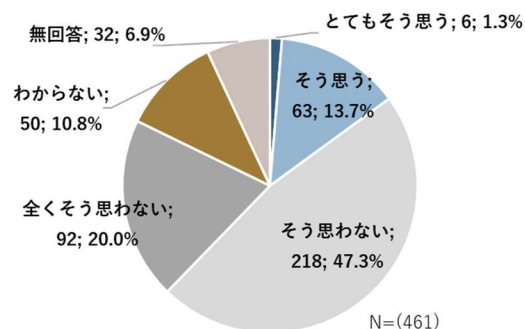
散布図を見ると、A:重点改善分野 が特に多い結果となり、優先的に改善・見直しが必要とされる施策が多いことがわかった。例えば、「4-(3)情報通信基盤の整備」はすべての施策の中で最も「今後の重要度」が高い施策でありながら、「現在の満足度」は非常に低い結果となっており、喫緊の対策が迫られる。



Part III 雇用の確保や働きやすい環境づくり

Q16. 働く場所の充実度

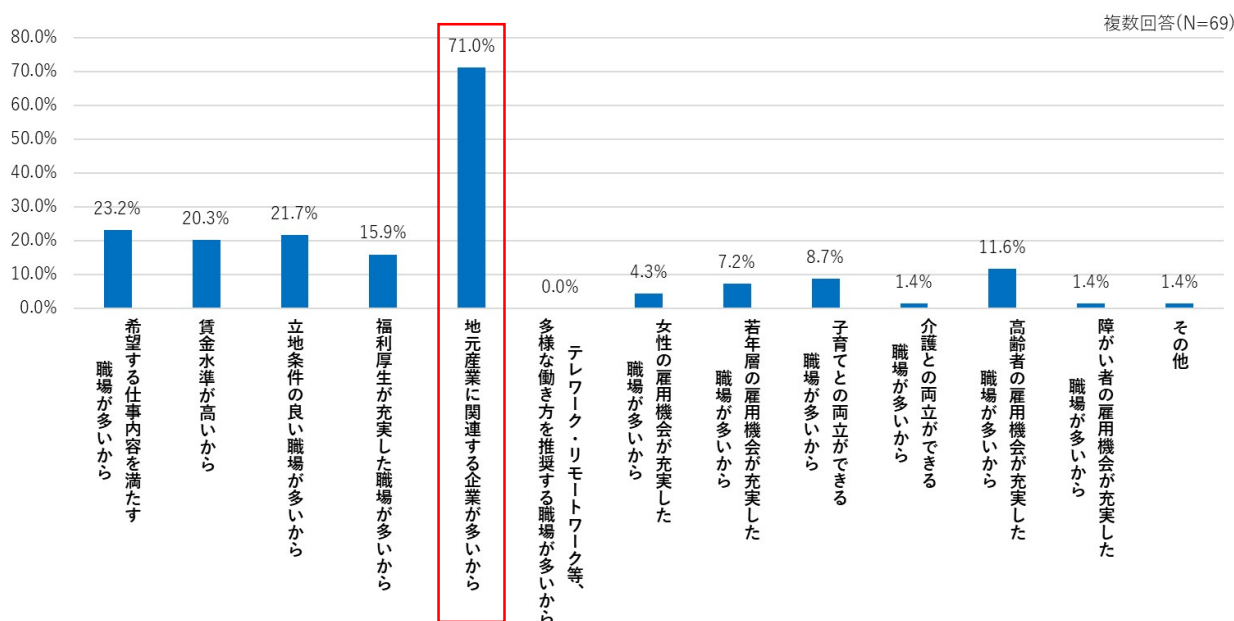
津久見市の働く場所が充実しているかについて、「そう思わない」「全くそう思わない」と回答した者は約 67% にのぼり、多くの人が、より働きやすい環境づくりを求めていることが浮き彫りになった。また男女別に見ると、男性が女性よりも充実度を感じる傾向がやや強いことがわかるが、年代別では大きな傾向の差は見られなかった。



※Q16 で「とてもそう思う、そう思う」を選んだ方

Q17. 働く場所が充実していると思う理由

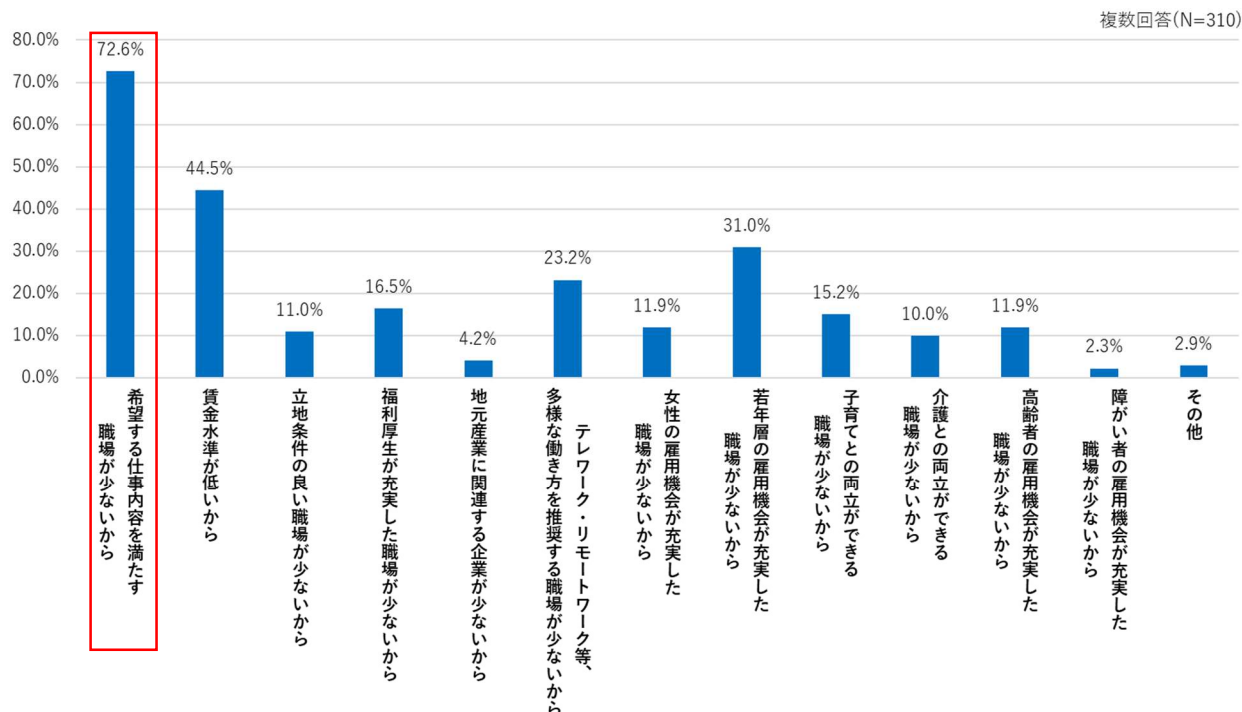
津久見市において働く場所が充実している理由として、「地元産業に関連する企業が多いから」(71.0%)が最も多く、セメント関連産業の発達による雇用環境への恩恵がうかがえる一方、「テレワーク・リモートワーク等、多様な働き方を推奨する職場が多いから」は 0%であり、働き方の多様化が求められる。



※Q16で「そう思わない、全くそう思わない」を選んだ方

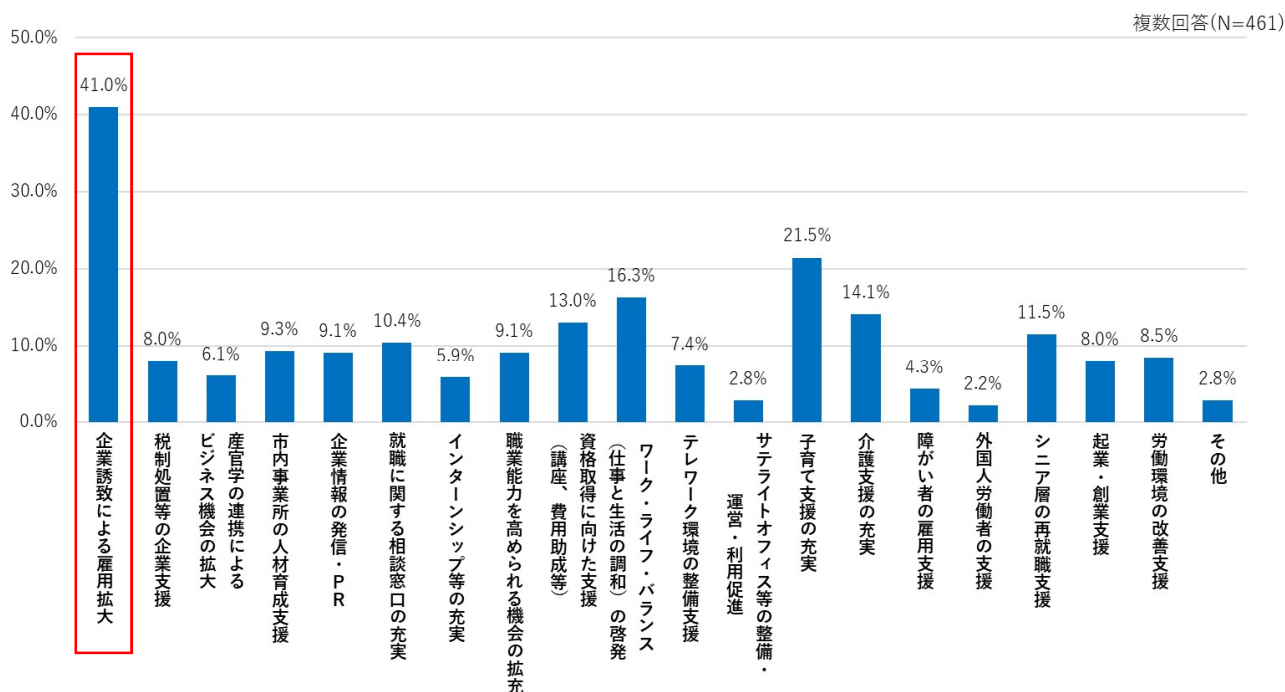
Q18. 充実していないと思う理由

全体で最も多かった理由は「希望する仕事・内容を実現する企業が少ない」で 72.6%にのぼり、次いで「賃金水準が低い」(44.5%)、「若年層の雇用機会が充実した職場が少ないから」(31.0%)が続いた。職種の多様性や待遇面の改善が求められていることが示された。



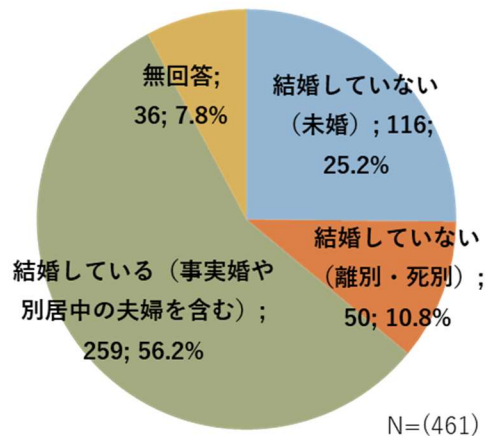
Q19. 行政が力を入れるべき取組

行政が力を入れるべき取組として最も多く挙げたのは「企業誘致による雇用拡大」(41.0%)であった。Q18 で津久見市内に「希望する仕事内容がない」との意見が非常に多かったことを踏まえると、主要産業に限らない産業振興が求められていると考えられる。



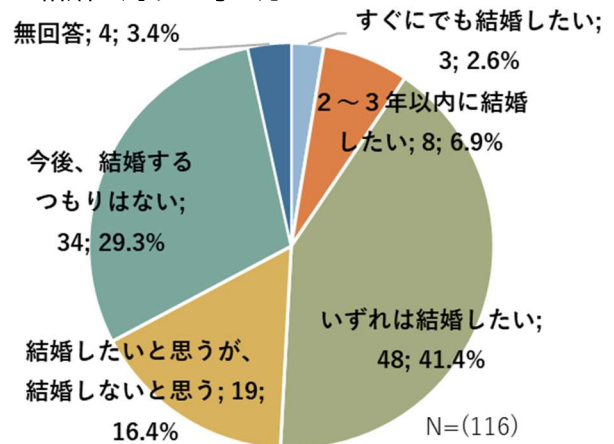
Part IV 結婚・子ども・子育て支援

Q20. 結婚状況



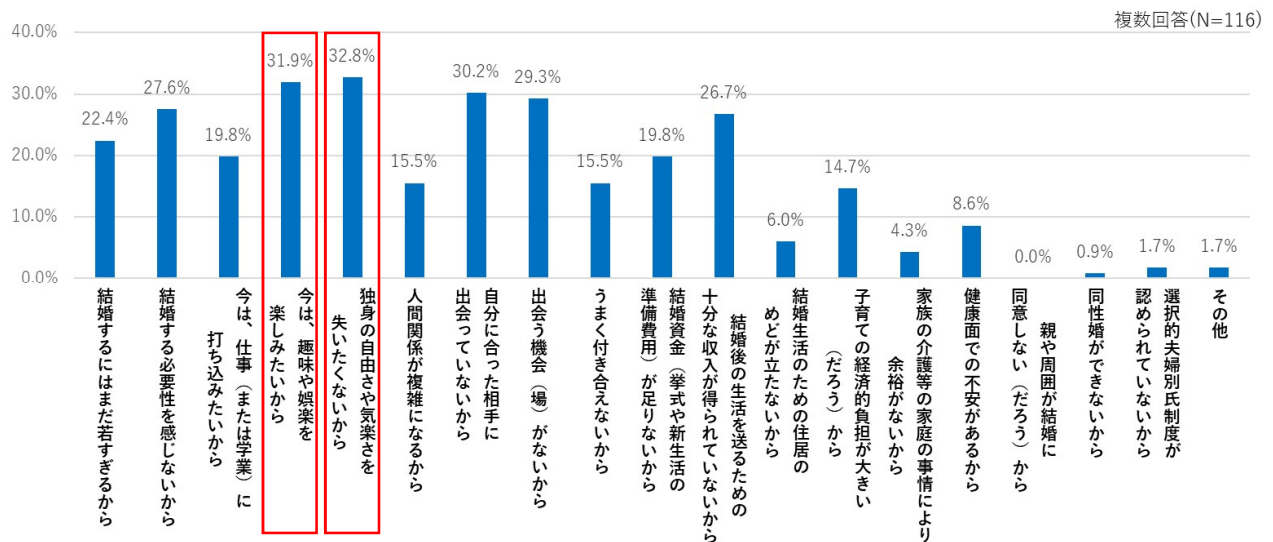
※Q20で「結婚していない(未婚)」を選んだ方

Q21. 結婚に対する考え方



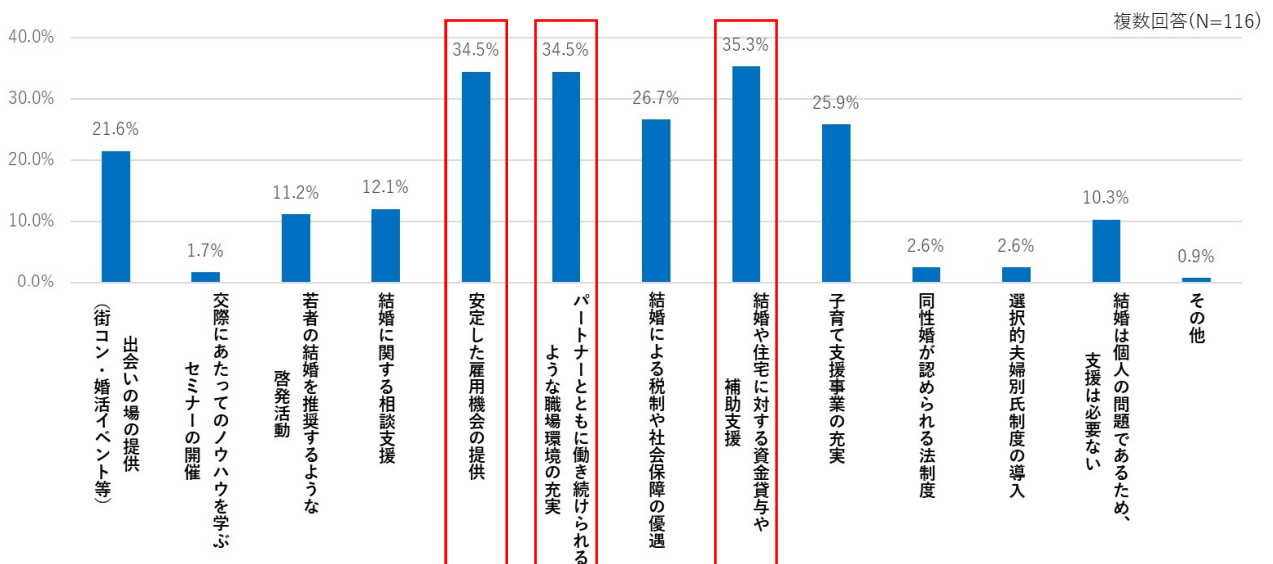
※Q20で「結婚していない(未婚)」を選んだ方

Q22. 結婚していない(しない)理由

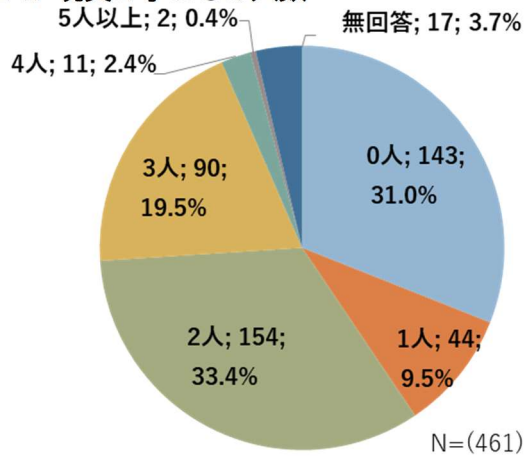


※Q20で「結婚していない(未婚)」を選んだ方

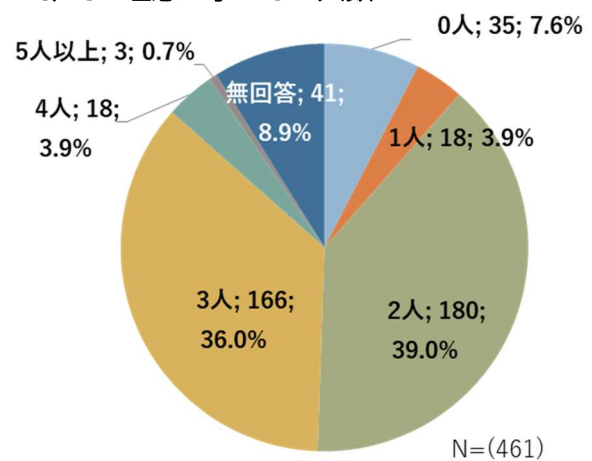
Q23. 行政に求める結婚支援



Q24. 現実の子どもの人数

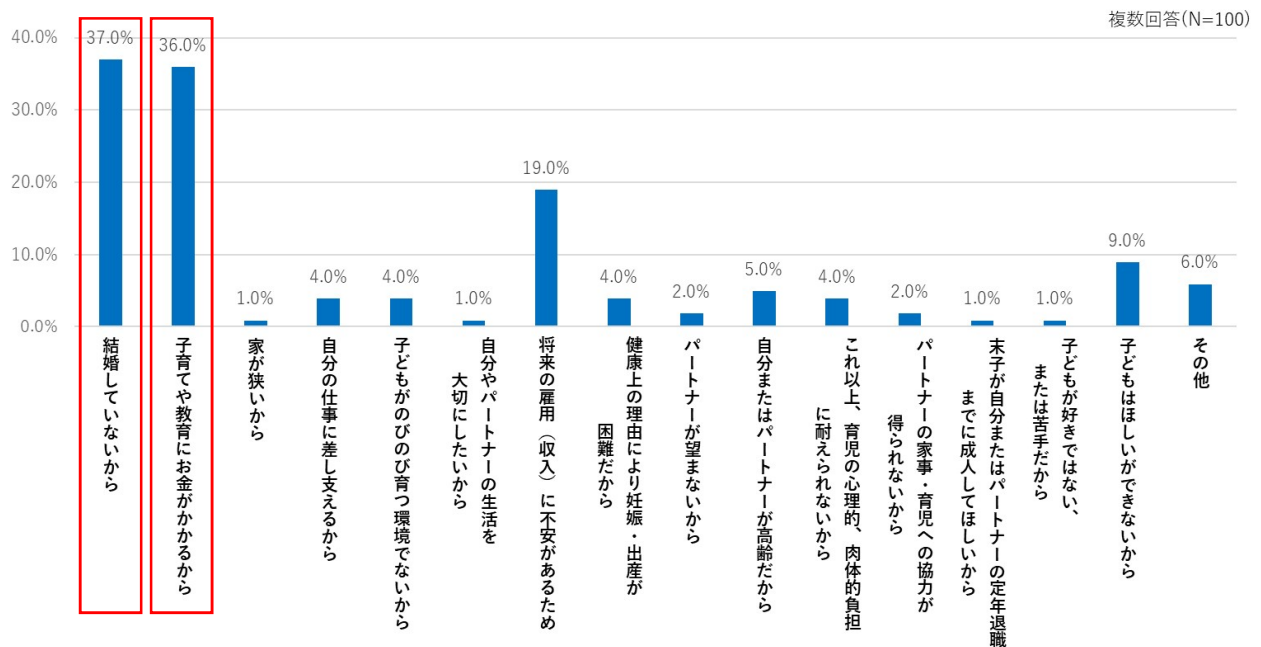


Q25. 理想の子どもの人数

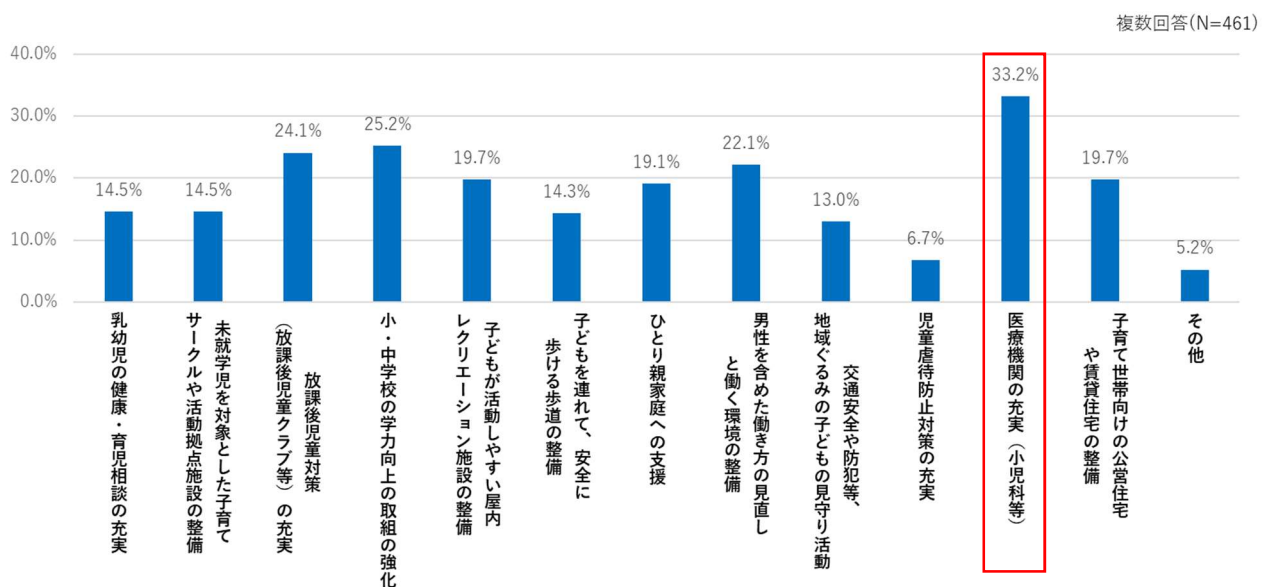


※現実の子どもの数が理想より少ない方

Q26. 現実が理想より少ない理由

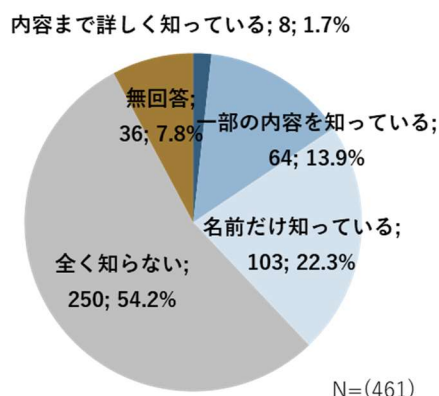


Q29. 行政が力を入れるべき子育て支援の取組

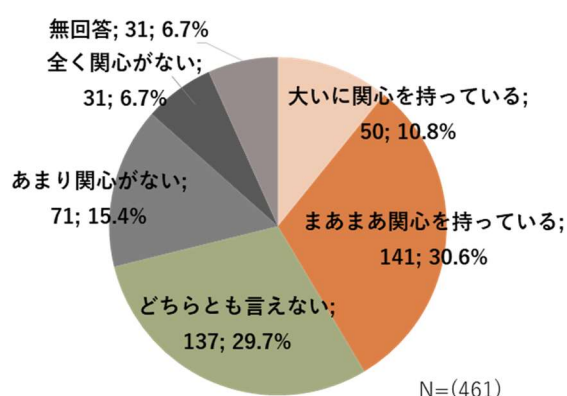


Part V これからのまちづくり

Q30. 総合計画・人口ビジョン・総合戦略の認知度



Q31. 行政の関心度



Q34. 目指すべき活力あるまちの姿

将来の津久見市に対する理想像としては、「住環境や働く場が充実し、若者が住みたくなるまち」が 62.9%と最も多く、次いで「医療・福祉サービスや公共交通の充実等、安心して暮らせるまち」(42.5%)、「結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえられるまち」(28.2%)が続いた。

生活基盤の充実、特に若者の定住や子育て・医療福祉の分野に対するニーズが高いことがわかる。

